

平成23年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成22年12月28日

上場会社名 ソーバル株式会社
 コード番号 2186 URL <http://www.sobal.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理財務部長
 四半期報告書提出予定日 平成23年1月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 推津 順一
 (氏名) 岩崎 恭治

TEL 03-5482-1222

上場取引所 大

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年2月期第3四半期の業績(平成22年3月1日～平成22年11月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年2月期第3四半期	4,253	△2.5	157	364.4	169	355.5	93	—
22年2月期第3四半期	4,361	—	33	—	37	—	0	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年2月期第3四半期	43.24	43.21
22年2月期第3四半期	0.05	0.05

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年2月期第3四半期	2,310	1,857	80.4	855.07
22年2月期	2,221	1,778	80.0	818.83

(参考) 自己資本 23年2月期第3四半期 1,857百万円 22年2月期 1,778百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年2月期	—	10.00	—	0.00	10.00
23年2月期	—	7.00	—	—	—
23年2月期(予想)	—	—	—	8.00	15.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年2月期の業績予想(平成22年3月1日～平成23年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,850	1.4	190	—	200	912.4	105	—	48.34

(注)当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注)簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年2月期3Q 2,171,900株 22年2月期 2,171,900株

② 期末自己株式数 23年2月期3Q 一株 22年2月期 一株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年2月期3Q 2,171,900株 22年2月期3Q 2,171,893株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の平成23年2月期業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる場合がありますことをご了承ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
【第3四半期累計期間】	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
4. 補足情報	9
(1) 生産、受注及び販売の状況	9

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、外需の拡大による企業業績の回復など一部に明るい兆しが見られる一方で、依然として高い水準にある失業率や、長期化する円高や不安定な物価情勢など下振れリスクを抱えた状況で推移しており、国内景気は依然として不透明な状況が続いております。

このような環境の中、当社のエンジニアリング事業においては、主要顧客であるデジタル製品メーカーの収益面が回復基調にあり、当社への技術者派遣ニーズは期初と比較すると増加しております。同時に、抑制気味でありました残業も増加し始めております。しかしながら、一部顧客の減少分を補うには至りませんでした。また、請負業務に関しましては、業務系及びWeb系のアプリケーション開発において、積極的な営業活動の効果が見え始め、着実に新規案件を獲得しております。これらの結果、エンジニアリング事業における売上高は4,203百万円（前年同期比2.2%減）となりました。

一方、その他事業におけるRFID事業においては、第3四半期に入り、案件の引合いは増加しているものの、各企業の新規技術に関する設備投資意欲の抑制が引き続き見受けられ、売上高は50百万円（前年同期比21.1%減）となりました。

利益面に関しましては、期初に案件情報の一元管理及び情報共有を目的とした組織変更により、適切な人員配置を実現し、待機工数の削減に大きく寄与いたしました。また、引き続きコスト削減に取り組んだ結果、営業利益、経常利益及び当期純利益いずれも大幅に改善いたしました。

以上の結果、当第3四半期累計期間における売上高は4,253百万円（前年同期比2.5%減）、営業利益は157百万円（同364.4%増）、経常利益は169百万円（同355.5%増）、四半期純利益は93百万円（前年同期93百万円の増加）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

(財政状態)

当第3四半期会計期間末における資産合計額は2,310百万円となり、前事業年度末比88百万円の増加となりました。これは主に、現金及び預金が149百万円増加したこと、仕掛品が111百万円増加したこと、未収還付法人税等が141百万円減少したことによるものであります。

負債合計額は453百万円となり、前事業年度末比9百万円の増加となりました。これは主に、未払法人税等が74百万円増加したこと、預り金等のその他流動負債が63百万円増加したこと、賞与引当金が163百万円減少したことによるものであります。

純資産合計額は1,857百万円となり、前事業年度末比78百万円の増加となりました。これは、四半期純利益93百万円の計上、及び剰余金の配当15百万円によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前事業年度末に比べて149百万円増加し、1,053百万円となりました。

当第3四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、177百万円となりました。これは主に、税引前四半期純利益165百万円の計上、法人税等の150百万円の還付などの資金増加要因が、たな卸資産の増加111百万円、賞与引当金の減少163百万円などの資金減少要因を上回ったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、12百万円となりました。これは主に、固定資産の取得に8百万円、差入保証金の差入に6百万円を支出したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、14百万円となりました。これは、配当金の支払によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

当第3四半期会計期間における業績動向及び経営環境を踏まえ、平成22年4月9日に発表いたしました「平成22年2月期 決算短信(非連結)」に記載しております平成23年2月期の業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、平成22年12月13日に発表しております「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

① 簡便な会計処理

・たな卸資産の評価方法

たな卸資産の簿価切下げに関して、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

・固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

・繰延税金資産の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前事業年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前事業年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

② 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理

・税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じ

て計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

受注制作のソフトウェアに係る売上高及び売上原価の計上基準の変更

受注制作のソフトウェアに係る収益の計上基準については、従来、検収基準を適用しておりましたが、「工事契約に関する会計基準」（企業会計基準第15号 平成19年12月27日）及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日）を第1四半期会計期間より適用し、第1四半期会計期間に着手した受注契約から、当第3四半期会計期間末までの進捗部分について成果の確実性が認められる契約については進行基準（案件の進捗率の見積りは原価比例法）を、その他の契約については検収基準を適用しております。

これによる当第3四半期累計期間の損益に与える影響はありません。

3 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期 会計期間末 (平成22年11月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,053,528	903,971
受取手形及び売掛金	564,209	577,866
仕掛品	308,949	197,246
原材料	920	691
その他	128,732	276,221
貸倒引当金	△8,713	△8,852
流動資産合計	2,047,626	1,947,146
固定資産		
有形固定資産	162,149	173,791
無形固定資産	19,892	24,266
投資その他の資産	80,511	76,496
固定資産合計	262,553	274,553
資産合計	2,310,180	2,221,699
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,561	468
未払法人税等	74,602	—
賞与引当金	—	163,895
受注損失引当金	26,821	1,239
その他	283,186	219,795
流動負債合計	389,171	385,398
固定負債		
役員退職慰労引当金	63,884	57,894
固定負債合計	63,884	57,894
負債合計	453,056	443,293
純資産の部		
株主資本		
資本金	212,330	212,330
資本剰余金	117,330	117,330
利益剰余金	1,527,464	1,448,746
株主資本合計	1,857,124	1,778,406
純資産合計	1,857,124	1,778,406
負債純資産合計	2,310,180	2,221,699

(2) 四半期損益計算書
【第3四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年11月30日)
売上高	4,361,102	4,253,894
売上原価	3,618,519	3,502,454
売上総利益	742,582	751,439
販売費及び一般管理費	708,640	593,808
営業利益	33,941	157,631
営業外収益		
受取利息	494	309
受取保険金	—	2,000
保険配当金	1,992	2,654
雇用奨励金収入	1,044	2,263
還付加算金	—	4,033
その他	4	589
営業外収益合計	3,535	11,850
営業外費用		
支払利息	—	285
株式交付費	338	—
その他	—	19
営業外費用合計	338	304
経常利益	37,138	169,177
特別利益		
貸倒引当金戻入額	649	138
特別利益合計	649	138
特別損失		
固定資産除却損	10	3,853
特別損失合計	10	3,853
税引前四半期純利益	37,777	165,462
法人税等	37,678	71,541
四半期純利益	99	93,921

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成21年3月1日 至 平成21年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自 平成22年3月1日 至 平成22年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	37,777	165,462
減価償却費	21,165	19,003
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△649	△138
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△176,600	△163,895
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	9,940	5,990
受取利息	△494	△309
支払利息	—	285
売上債権の増減額 (△は増加)	75,426	13,657
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△6,464	△111,931
未払金の増減額 (△は減少)	△42,587	7,715
その他	△30,668	93,599
小計	△113,154	29,437
利息の受取額	494	309
利息の支払額	—	△285
法人税等の支払額	△292,332	△2,799
法人税等の還付額	—	150,604
営業活動によるキャッシュ・フロー	△404,993	177,267
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△5,102	△5,041
無形固定資産の取得による支出	△4,327	△3,335
投資有価証券の売却による収入	—	453
差入保証金の差入による支出	—	△6,829
差入保証金の回収による収入	21,175	1,900
投資活動によるキャッシュ・フロー	11,745	△12,853
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	600,000
短期借入金の返済による支出	—	△600,000
配当金の支払額	△137,693	△14,856
株式の発行による支出	△308	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△138,002	△14,856
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△531,250	149,557
現金及び現金同等物の期首残高	1,253,148	903,971
現金及び現金同等物の四半期末残高	721,898	1,053,528

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

生産実績においては、当社の業務形態上、重要性が乏しいため記載を省略しております。

② 受注実績

当第3四半期累計期間における受注実績を示すと次のとおりであります。

事業部門別	前第3四半期累計期間 (自 平成21年3月1日 至 平成21年11月30日)		当第3四半期累計期間 (自 平成22年3月1日 至 平成22年11月30日)	
	受注高 (千円)	受注残高 (千円)	受注高 (千円)	受注残高 (千円)
エンジニアリング事業				
業務請負形態	1,234,554	448,101	1,545,778	601,370
合計	1,234,554	448,101	1,545,778	601,370

- (注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 2 特定派遣形態はサービスの提供量に応じて対価を得るため、受注実績には記載しておりません。
 3 その他事業に関しては、重要性が乏しいため記載を省略しております。

③ 販売実績

当第3四半期累計期間における販売実績を示すと次のとおりであります。

事業部門別	前第3四半期累計期間 (自 平成21年3月1日 至 平成21年11月30日)		当第3四半期累計期間 (自 平成22年3月1日 至 平成22年11月30日)	
	販売高 (千円)	構成比 (%)	販売高 (千円)	構成比 (%)
エンジニアリング事業	4,296,922	98.5	4,203,241	98.8
特定派遣形態	2,906,951	66.6	2,771,124	65.1
業務請負形態	1,389,970	31.9	1,432,117	33.7
その他事業	64,180	1.5	50,653	1.2
合計	4,361,102	100.0	4,253,894	100.0

- (注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 2 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する構成比は次のとおりであります。

相手先	前第3四半期累計期間 (自 平成21年3月1日 至 平成21年11月30日)		当第3四半期累計期間 (自 平成22年3月1日 至 平成22年11月30日)	
	販売高 (千円)	構成比 (%)	販売高 (千円)	構成比 (%)
キヤノン株式会社	3,220,370	73.8	3,211,213	75.5
ソニー株式会社	648,252	14.9	402,706	9.5

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。